

2015年11月11日

2015年12月期 第3四半期

決算短信補足資料





TOPICS

2015年12月期 Q3(1-9月)連結決算



TOPICS

2015年12月期 業績修正について

I

2015年12月期 Q3(1-9月)連結決算

Consolidated Financial Results for Fiscal Year 2015(Jan-Jun)

エクゼクティブサマリー (第3四半期)

- 売上高:1,829百万円(前年同四半期比 2.5倍)
 - ✓ 訪日中国人のインバウンド消費動向レポート「図解 中国トレンドExpress」の好調
 - ✓ グローバル事業の拡大

(日本基準)

- 営業利益:△106百万円(前年同四半期は93百万円)
 - ✓ 買収に伴うのれん償却費200百万円計上
 - ✓ のれん償却費前営業利益は93百万円

IFRS基準と日本基準の相違

※ご留意ください

年間を通じた決算は、IFRS基準になりますが、IFRSへの移行スケジュール上、Q1からQ3までは、日本基準での発表になります。

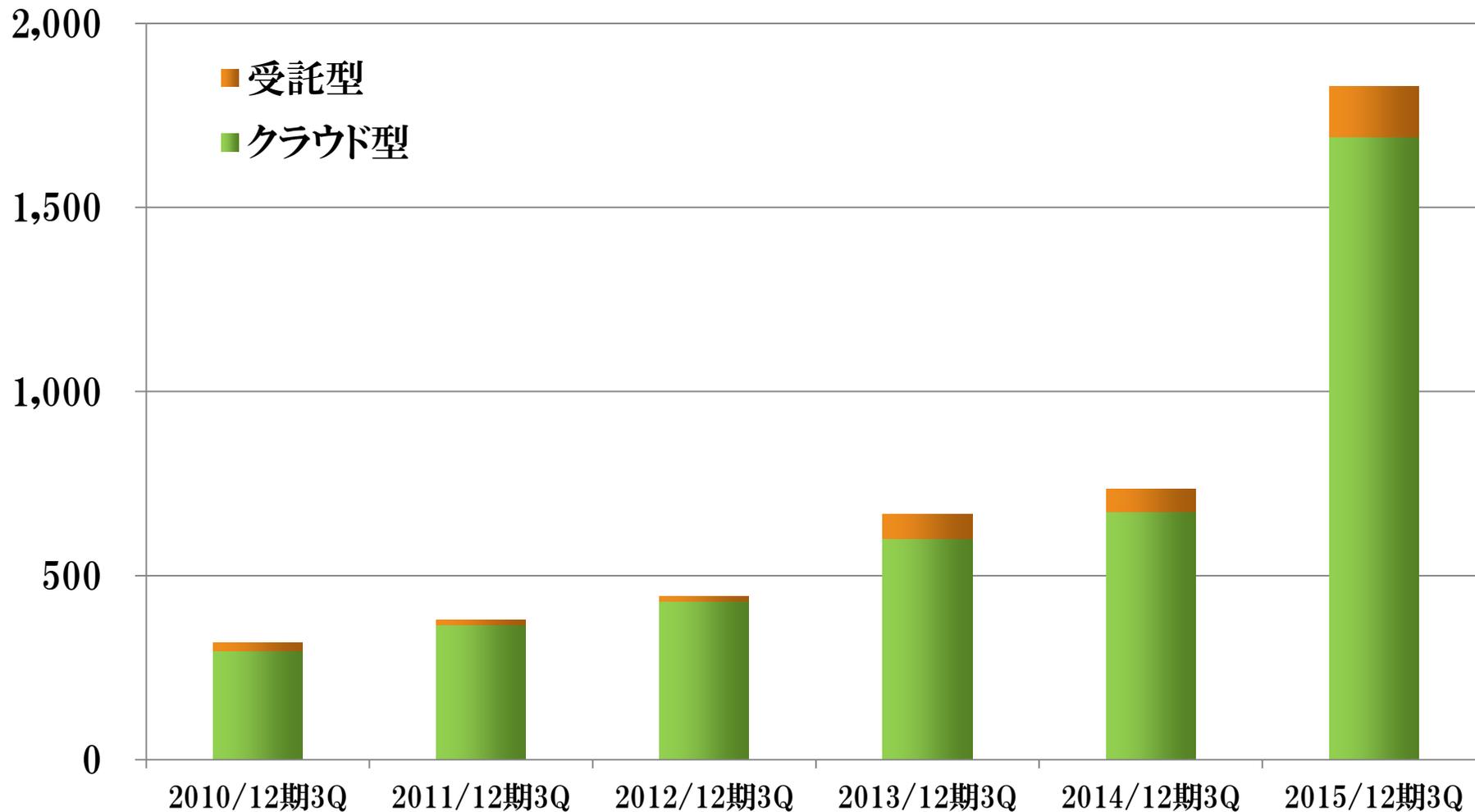
第3四半期 連結業績サマリー(日本基準)

(単位:百万円)

	2015年12月期3Q	2014年12月期3Q	前年 同四半期比
売上高	1,829	735	248.8%
営業利益	△106	93	—
営業利益率	△5.8%	12.9%	—
経常利益	△164	93	—
四半期純利益	△179	40	—
のれん償却前 営業利益	93	138	67.5%

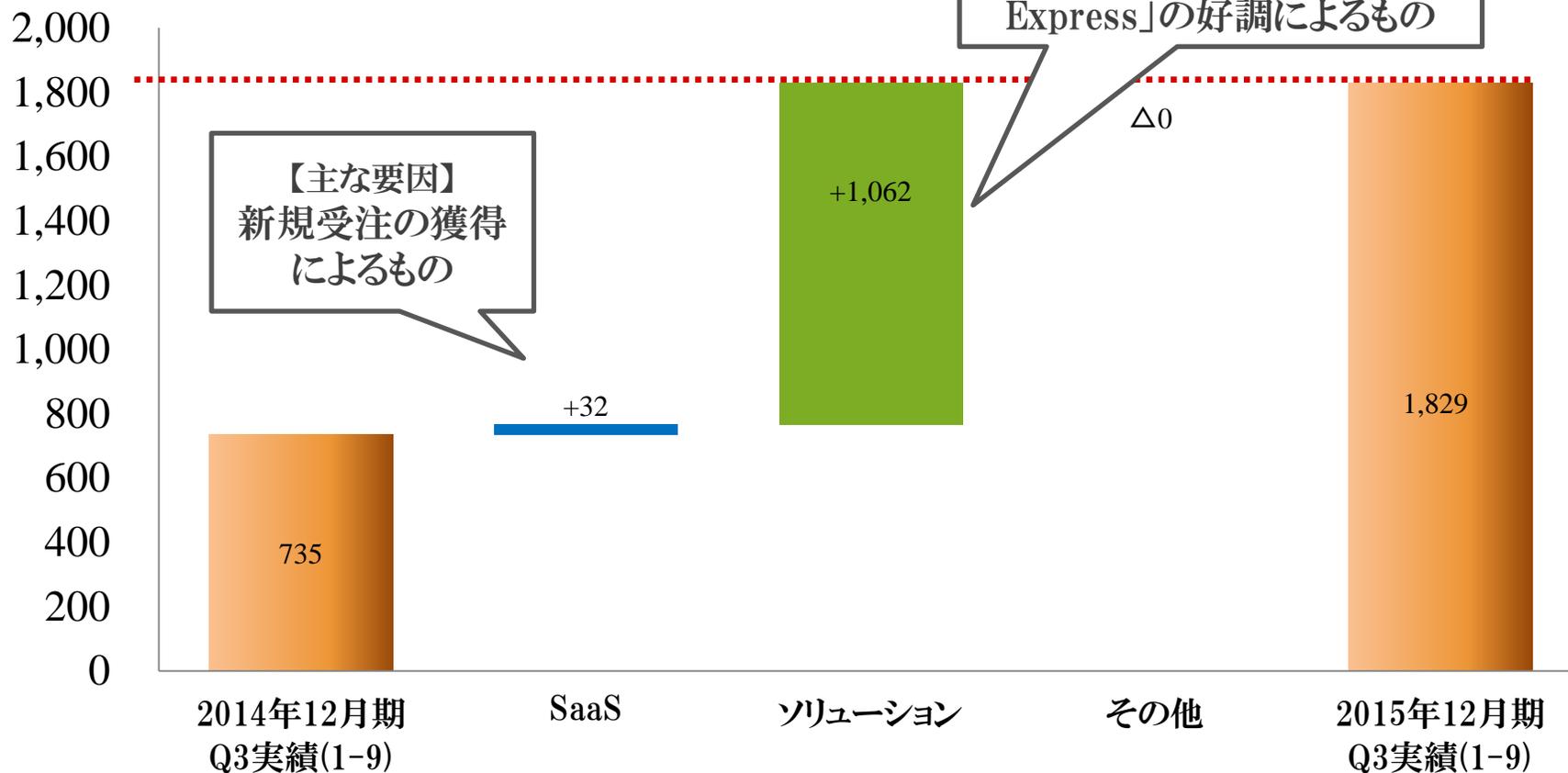
連結売上高推移(1月～9月累計)

(単位:百万円)



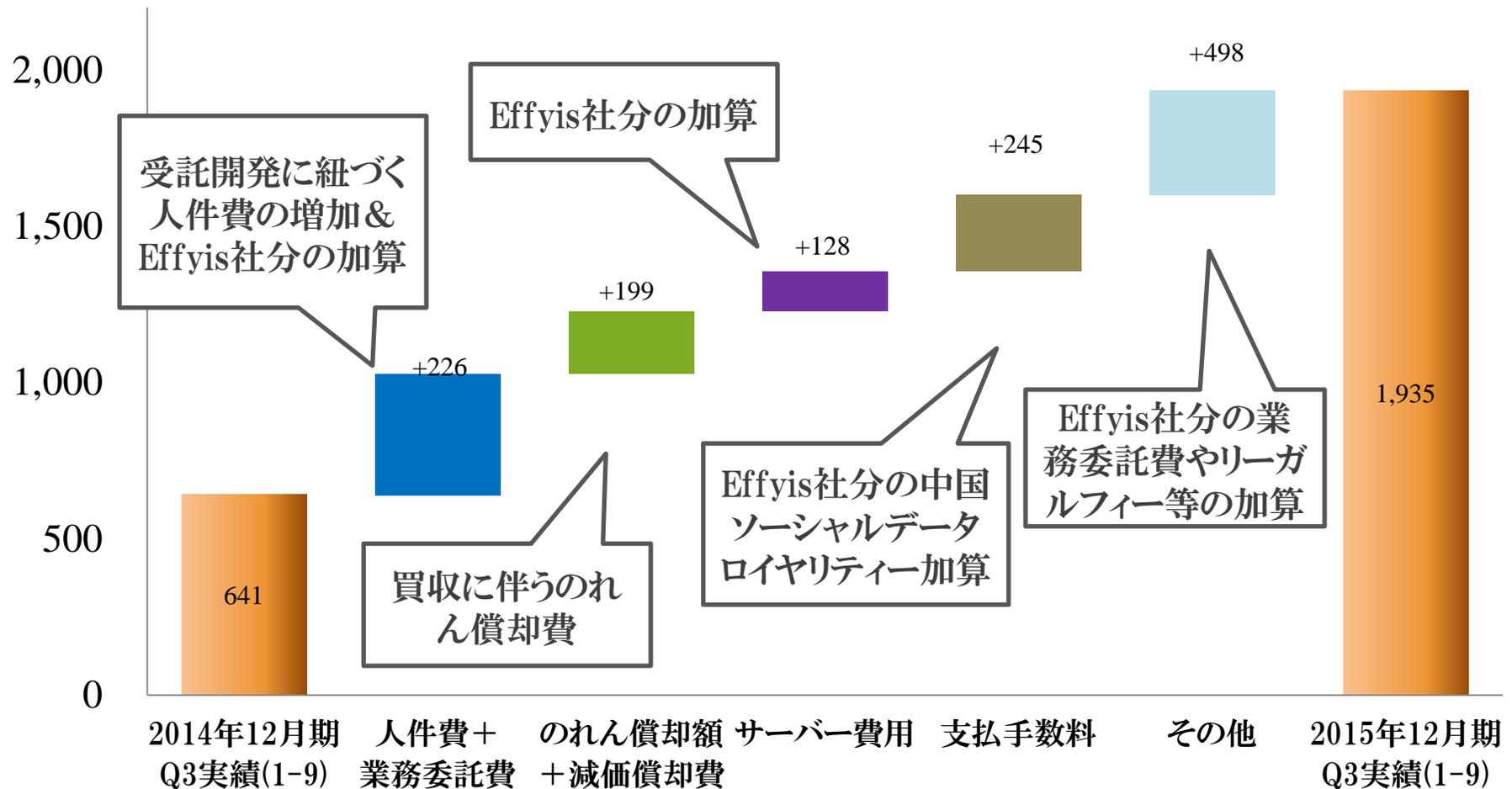
売上高増減分析(対前期比)

(単位:百万円)



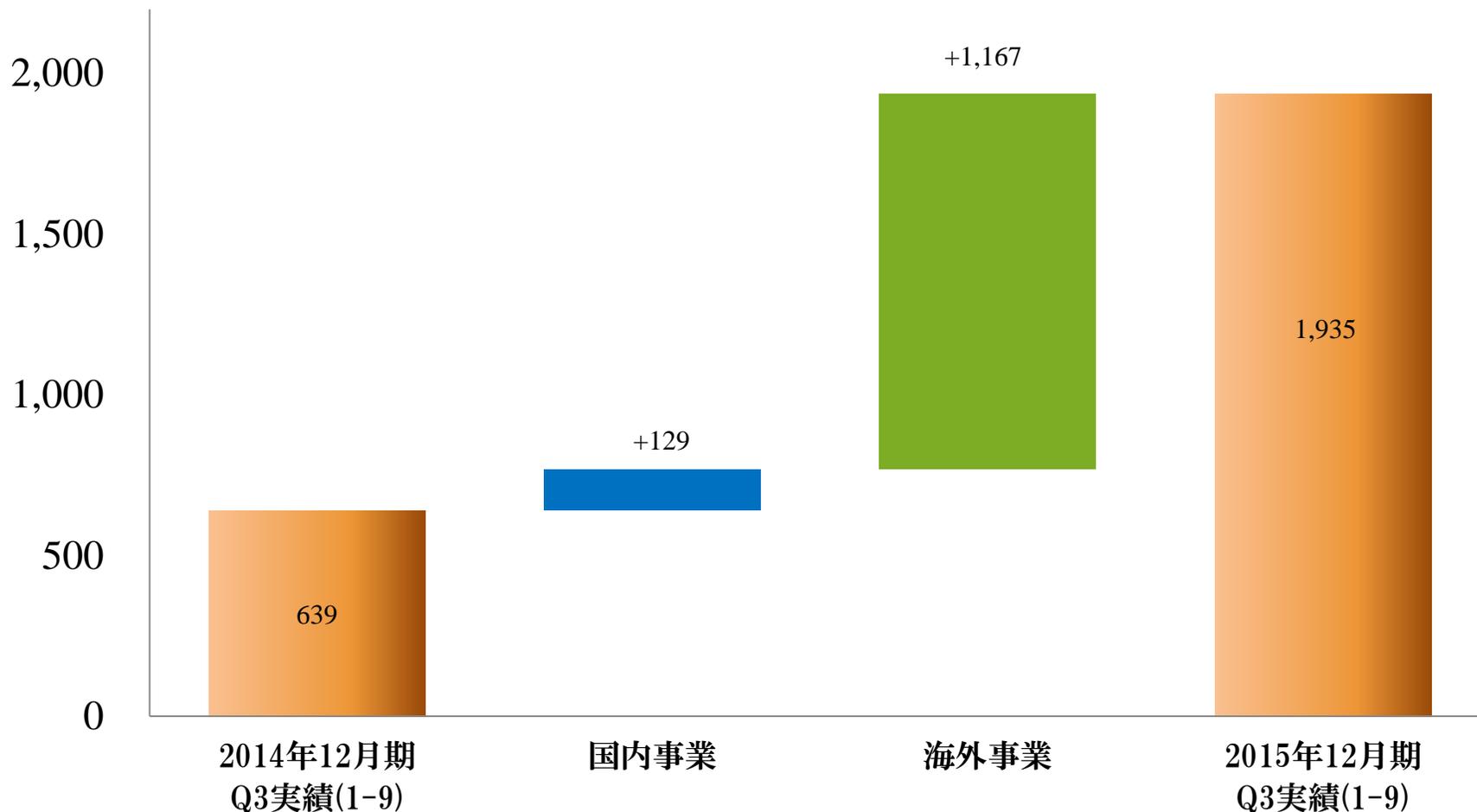
費用(原価+販管費)増減分析(対前年比)①費目別

(単位:百万円)



費用(原価＋販管費)増減分析(対前期比)②国内外別

(単位:百万円)



連結貸借対照表

【主な要因】
買収資金に伴う
借入金の増加

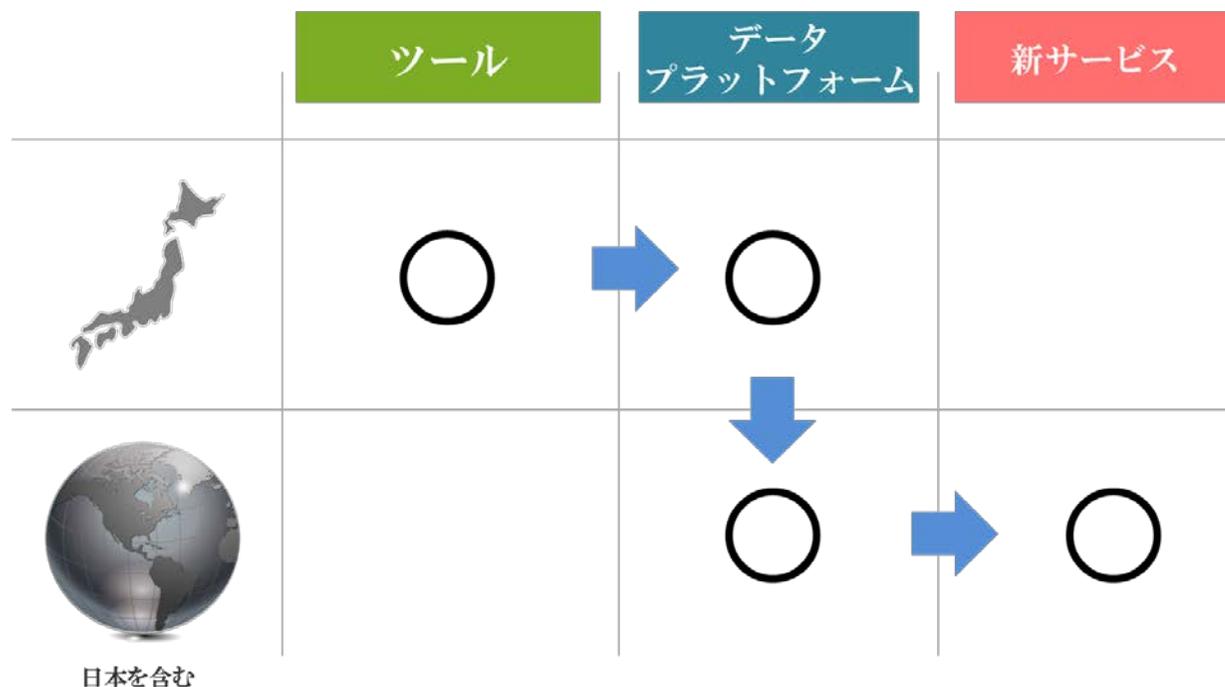
単位:百万円

	FY2014末時点	FY2015 Q2時点	FY2014末比
流動資産	2,934	971	△1,963
固定資産	309	3,328	3,019
資産合計	3,244	4,300	1,055
流動負債	1,891	2,685	794
固定負債	2	399	397
負債合計	1,893	3,084	1,191
純資産合計	1,350	1,215	△135
負債資本合計	3,244	4,300	1,055

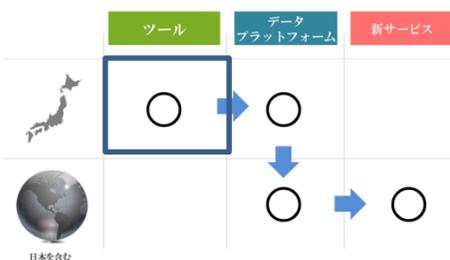
当社の事業展開の方向性

当社は、ネット上に存在する「ソーシャル・ビッグデータ」を活用した、マーケティングツール「クチコミ@係長」「e-mining」を国内で提供する事業を皮切りに、世界のソーシャル・ビッグデータ保有者との提携を推進し、データプラットフォーム事業をグローバルに推進しています。

さらに、「図解中国トレンドExpress」に代表されるように、ソーシャル・ビッグデータを加工し、顧客が次のアクションを起こせるような情報まで変換して提供する(ソーシャル・ビッグデータの価値化)サービスを開発していきます。



ツール事業の当四半期トピックス



「クチコミ@係長」が、第9回ASPICクラウドアワード 2015」のASP・SaaS部門の支援業務系グランプリを受賞。

ASPICは、1999年に設立された、SaaS・クラウドサービスの普及に貢献することを目的として設立されたNPO法人です。

ソーシャルメディア分析ツール



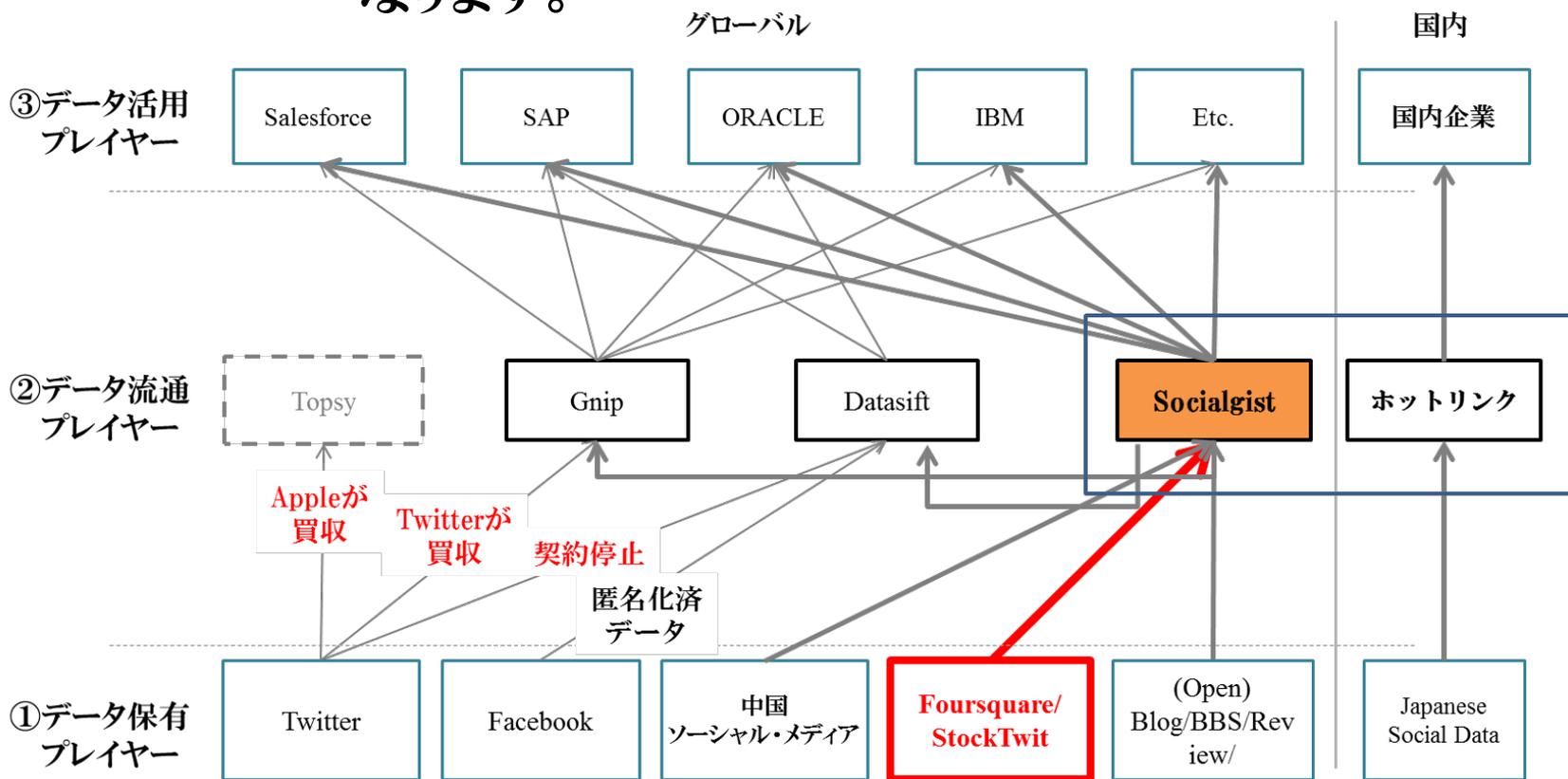
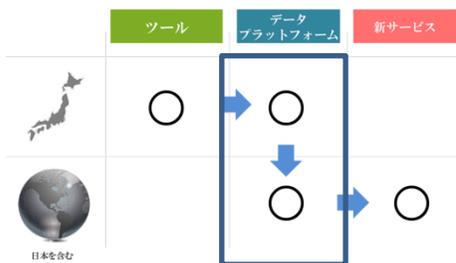
- ▶ Twitter 全世界・全言語・全期間のデータ取得が可能
- ▶ ブログ 蓄積記事数 110.9億件 / 2006年11月～3800万人
- ▶ 2ちゃんねる データの**独占的**商用利用権
- ▶ その他 ソーシャルメディア Q&A, BBS
- TV / ネットニュース / 検索キーワードログ



データプラットフォーム提供事業の当四半期トピックス

Foursquare社との提携を実現

この提携により当社グループは、Foursquare®の位置情報付きユーザーレビューデータを世界で初めて販売することになります。



II 2015年12月期 通期業績予想の修正について

Revision of Consolidated Earnings Forecasts for the Fiscal Year 2015

エクゼクティブサマリー（業績予想修正の概要）

当社は当期の業績（IFRS基準）を以下のように下方修正いたしました。
（単位：百万円）

	今回修正予想	前回発表予想	増減額	増減率
売上高	2,409	2,423	△14	△0.6%
営業利益	△31	208	△239	—
当期利益	△124	106	△230	—

修正の主な理由は、

- ①IFRS（国際会計基準）への移行に伴う会計処理方法の変更に伴うもの
- ②業務拡大による費用の増加等
- ③買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理
- ④買収資金の送金に伴う為替差損

から発生しております。

【IFRS (International Financial Reporting Standards)とは、国際会計基準審議会(IASB)によって設定された会計基準の総称です。】

① IFRS (国際会計基準) 移行に伴う会計処理の変更

(単位:百万円)

科目	前回予想との差額	内容
【海外事業】		
減価償却費	+46	減価償却費の計算方法を米国で定められている2倍定率法からIFRSで定められている定額法に変更したことにより、過年度に遡って計算し直した結果、費用が増加
人件費	+60	買収直前期の2014年12月期のEffyis社の財務諸表で費用計上していた従業員に対するキャッシュインセンティブプランを2015年以降に修正したことによる費用の増加
計	+106	

② 事業拡大に伴う先行投資及び管理体制費用

(単位:百万円)

科目	前回予想との差額	内容
【海外事業】		
人件費・広告 宣伝費・支払 報酬等	+77	顧客向けポータルサイトの構築及び営業体制強化に伴う要員の新規採用、並びに管理体制の強化に伴う採用や会計コンサル費用、会計監査費用の増加
【国内事業】		
賃借料	+30	事業拡大に伴うクラウドサーバー費用の増加
計	+107	

③、④ その他の経費の増加

(単位:百万円)

科目	前回予想との差額	内容
【海外事業】		
貸倒引当金繰入額	+30	買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理により費用が増加
為替差損	+33	Effyis社の買収資金の送金に伴う為替差損により費用が増加
法人所得税等	△46	法人所得税の減少
計	+17	

今後の対応策について

1. 海外子会社の予実管理の厳格化と売上拡大への注力

今期については、Effyis社を買収し、上場会社の子会社として管理体制の構築に注力してきました。想定外の費用発生及び滞留債権が発生したものの、来期以降につながる体制整備が行われたと判断しております。また、**営業活動自体は、当初予定通り進捗しています。**

来期以降は、費用に関する予実管理を厳格にするともに、売上拡大に、より一層注力していく方針です。

2. コストの削減

費用増加のうち、回収不能債権の損失処理30百万円、為替差損33百万円は来期以降発生しません。また、前回発表予想に組み込んでいた買収取得にかかる費用38百万円、IFRS導入やPMIコンサル費用12百万円及び会計処理変更に伴う費用12百万円も来期以降発生しません。

以上のことから、当社グループ全体として来期は費用の削減ができるものと伴に堅調な売上拡大と相まって十分な利益を生み出すことができるものと考えております。

<本資料の取り扱いについて>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

Make the World “Hotto”

最後までご覧いただきありがとうございました

